

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・店舗によってばらつきはあるが、全体で客数が10%ほど伸びている。
		コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・9月まで前年比でマイナスだった客単価が、10月以降プラスに転じている。
		家電量販店（副 店長）	販売量の動き	・12月中旬まで、売上高、客数は前年を下回っていたが、チラシ投函で価格アピールをしたところ、来客数が増え、売上も上昇している。客が価格に対して敏感であることが改めて実感される。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・月の初めは例年より来客数が少なかったが、中旬以降前年比115%で好調に推移している。
		都市型ホテル （マーケティング 担当）	来客数の動き	・クリスマスケーキの販売、忘年会の予約状況ともに好調である。ただし、クリスマスディナー、お節の販売、宿泊客の入込は例年に比べ良くない状況である。
		旅行代理店（経 営者）	販売量の動き	・海外への旅行者数が大分回復してきており、販売額は前年比で110%となっている。
変わらない		ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・来客数が前年同月比で増加している。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・客の買い方は依然として慎重である。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・既存店の客数が前年を割っている。ショッピングセンターなどの大型店への客のシフトが顕著である。ただ、総体的には伸長している。新規開店こそが最大の需要喚起となっている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・全体的に購買力が落ちているが、値が張っても変わった物を探す傾向は変わらない。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	来客数の動き	・12月は観光客も一段落し、地元の客は閑散としている。隣の商業地域の発展で流れが大分変わっている。
		高級レストラン （副支配人）	来客数の動き	・入域観光客数は増えているようだが、来客数へは反映されておらず、変わっていない。観光客はレンタカーを利用し、郊外へ流れているような感があり、また、若い人達は居酒屋へ行っている傾向がみられる。
		観光型ホテル （商品企画担 当）	単価の動き	・前年同月と比較して稼働率が1ポイントほど下がる見込まれる。ただし、単価のアップがあるため、収入では前年並みである。
やや悪く なっている		その他のサービ ス〔レンタ カー〕（営業担 当）	来客数の動き	・3か月前とは比較は出来ないが、ほぼ前年並みの来客数の動きになっている。
		百貨店（担当 者）	販売量の動き	・11月と変わらず気温の影響を強く受けている。月初めからクリスマス需要までの販売時期に気温が高く、主力の衣料を中心に苦戦した。アイテムとしてはコート、ブーツといった防寒衣料の大幅な販売数量減が当月の苦戦要因となり、期間を通しての販売数量が婦人衣料で前年同月比10%の減少となっている。ボーナス期以降に一時期気温が低下したものの、需要回復にはつながっていない。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・年間を通して客数は1ポイント増加しているものの、客単価が1.7ポイント下落している。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・3か月前は若者のグループ、カップルや家族連れ等で大いににぎわい、前年同月に対する伸び率も大きかったが、12月はそれほど大きくない。
悪く なっている		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・住宅新築市場は今年半ばをピークにやや冷め気味のように感じられ、特に展示場の来客数は今年半ば以降は低下している。
		-	-	-
		-	-	-
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	輸送業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・例年、年末商戦で物量は増加するが、今年は追加配送が多い。

	変わらない	通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・入札案件でも低価格受注の傾向は変わらない。
	やや悪くなっている	不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・問い合わせ数や成約件数が減少している。売主と買主の提示する価格のギャップが大きい。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・観光産業が非常に好調なため、観光産業に関連した人の依頼や、それ以外の業界に関しても依頼が増えている。3か月前は少し落ち込みがあったが、今月はまた、活発になってきた感がある。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	周辺企業の様子	・求人誌各社において県外からの求人企業件数が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比較して一般求人、パート求人ともに微増となっている。 ・産業別求人をみると、3か月前と比較して運輸・通信業が26.6%、卸売・小売業・飲食業が8.8%、建設業が14.0%とそれぞれ減少したものの、製造業が43.3%、サービス業が5.0%とそれぞれ増加しており、有効求人倍率は、0.43倍で3か月前より0.04%ポイント増加している。
	変わらない	学校[大学]（就職担当）	求人数の動き	・求人数はサービス業中心に増加傾向にあるが、学生が希望する規模の企業からの求人数は少ないため、学生は応募しない状況である。中堅企業の求人が増えれば良い傾向だと思うが、このような状況下では懸念される。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-